

# ジェイ ヘアメイク専門学校情報公開

(2016年度自己点検・評価結果)

## 目 次

1. 理事長挨拶
2. 中村学園について
  - 2-1. 学園の誕生
  - 2-2. 学園の歩み
  - 2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先
3. 学園の財務状況
  - 3-1. 資金収支計算書
  - 3-2. 貸借対照表
4. 学校長挨拶
5. 学校について
  - 5-1. 学校の歩み
  - 5-2. 学校の所在地と連絡先
6. 教育
  - 6-1. 学生状況
  - 6-2. 主要資格・検定合格率
  - 6-3. 卒業後の進路
  - 6-4. 教育課程編成委員会
  - 6-5. 学校関係者評価委員会
  - 6-6. 教職員研修
  - 6-7. 教職員・講師
7. 学生支援
  - 8-1. SAM活動及びクラブ活動
  - 8-2. カウンセリング
8. 危機管理
9. 国際連携・地域貢献等
10. 自己評価

## 1. 理事長挨拶

お蔭様をもちまして、中村学園が誕生して、70年目を迎えます。

戦後間もない昭和22年洋裁の技術指導を目的として設立された中村洋裁研究所が現在の学園の基盤となっております。

時代の流れと共に新しい分野の専門学校展開を図ってまいりましたが、その教育に対する精神は、一貫しており、技術を身につけ、常に自信をもって社会に貢献でき、相手の立場が理解できるホスピタリティ精神の醸成を図る事であります。

学園の大きな改革の始まりは1987年（昭和62年）に行った洋裁の技術指導から観光産業に従事する学生の育成への転換でありました。その後、動物分野、美容分野、製菓分野へと進展を図ってまいりました。それぞれの時代で学園を支える多くの教職員があつて現在の中村学園があると常に感謝いたしております。現在では、5校合わせて約1,700名の学生が夢を果たすために、日夜努力を重ねており、教職員はその夢の実現をサポートする日々を送っております。

現在は以下5校の運営を行っております。

「国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校」「専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園」「アイ エステティック専門学校」「ハッピースイーツ製菓専門学校」「ジェイ ヘアメイク専門学校」であります。

これからも、さらに専門教育指導の充実を図り、学生にとって「明るく 楽しく 元気よく」をモットーに充実した学園生活を送る事が出来る専門学校を目指してまいります。

**中村学園 GRAND CREDO**

**おもてなしと感謝の心で、夢をカタチに**

2017年4月1日

学校法人 中村学園

理事長 中 村 洋 子

## 2. 中村学園について

### 2-1 学園の誕生

1947年（昭和22年）、名誉理事長中村あいが教育機関として「中村洋裁研究所」を開設いたしました。以来、本日まで専門教育に携わり教育に対する取組む姿勢は常に技術指導、技能習得を通して人格形成をはかり、時代が求める職業人の育成でありました。開校以来70年その理念は現在に受け継がれ37,000人以上の卒業生を送り出し、それぞれの分野の第一線で活躍し社会に貢献しています。

### 2-2 学園の歩み

- 1947年12月22日 「中村洋裁研究所」開所。
- 1951年 財団法人中村学園として発足、中村ドレスメーカー女学院へ改称。
- 1966年 学校法人中村学園として認可、旧1号館校舎が完成。
- 1976年 専修学校認可により中村ドレスメーカー専門学院に校名変更。
- 1977年 中村学園ビル（7階建）が完成。
- 1985年 学校法人森谷学園と教育提携を行い旅行科の設置を決定。
- 1987年 校名を国際トラベル・モード専門学校と改め、旅行科を新設。
- 1988年 国際トラベル・モード専門学校の旅行科専用校舎2号館が完成。  
㈱ナカムラを設立。
- 1993年 国際女子ビジネス専門学校と国際トラベル・ホテル専門学校の2校に分離、  
国際トラベル・ホテル専門学校のホテル科専用校舎3号館が完成。
- 1996年 国際女子ビジネス専門学校をCIB国際ビジネス専門学校に改称。
- 1997年 ちば愛犬動物学園を認可外学校として㈱ナカムラ内に設立。
- 1999年 CIBを閉校。ちば愛犬動物学園が専修学校として認可。
- 2000年 ㈱ナカムラ内に「ちば留学センター」を開設。
- 2002年 専門学校ちば愛犬動物学園の実習校舎として5号館を購入。
- 2003年 専門学校ちば愛犬動物学園のおゆみ野校舎（実習校舎）が完成。
- 2004年 専門学校ちば愛犬動物学園の長柄キャンパス（1万坪）校舎が完成。
- 2005年 専門学校ちば愛犬動物学園の千葉校舎として新1号館が完成。
- 2007年 国際トラベル・ホテル専門学校の付帯事業としてズーフェニックスアカデミー千葉校を開設、  
幼児の英語教育を開始。  
アイエステティック専門学校を開校。  
国際トラベル・ホテル専門学校の実習校舎8号館が完成。
- 2011年 アイエステティック専門学校をアイエステティック美容専門学校に改称。
- 2013年 専門学校ちば愛犬動物学園を専門学校ちば愛犬動物フラワー学園に改称。  
国際トラベル・ホテル専門学校を国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校に改称。  
中村学園総合校舎Nタワー（9階建）が完成。
- 2014年 ハッピースイーツ製菓専門学校を開校。
- 2015年 アイエステティック専門学校を開校。
- 2016年 アイエステティック美容専門学校をジェイヘアメイク専門学校に改称。

## 2-3. 学園及び学園グループの所在地と連絡先

### (1) 学園

学園本部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-13

TEL：043-242-0778 FAX：043-242-0541

総務部（1号館）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-13

TEL：043-242-0467 FAX：043-242-2916

### (2) 学園グループ

株式会社ナカムラ

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-13-10

TEL：043-248-8011 FAX：043-241-4480

ちば留学センター

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 中村学園Nタワー2階

TEL：043-248-8011 FAX：043-241-4480

<http://www.chiba-ryugaku.jp/>

ズー・フォニックス・アカデミー（株式会社ナカムラ本社）

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-13-10

TEL：043-238-2081・0120-026-081

<http://chiba.zoo-phonics.jp>

e-mail [chiba@zoo-phonics.jp](mailto:chiba@zoo-phonics.jp)

### 3. 学園の財務状況

#### 3-1. 資金収支計算書 (2015年4月1日から2016年3月31日)

単位：千円

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,962,109	1,981,013	△18,904
手数料収入	25,895	20,337	5,558
補助金収入	16,419	16,419	0
資産運用収入	10,000	709	9,291
事業収入	0	7,415	△7,415
雑収入	136,410	26,850	109,560
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,244,337	1,037,236	207,101
その他の収入	192,073	626,299	△434,226
資金収入調整勘定	△953,375	△1,084,669	131,294
前年度繰越支払資金	1,306,078	1,306,078	—
収入の部合計	3,939,946	3,937,687	2,259
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	941,327	936,779	4,548
教育研究経費支出	520,190	382,444	137,746
管理経費支出	308,639	303,014	5,625
借入金等利息支出	5,668	5,668	0
借入金等返済支出	120,000	120,000	0
施設関係支出	0	71,154	△71,154
設備関係支出	44,000	24,240	19,760
資産運用支出	0	29,381	△29,381
その他の支出	428,934	661,933	△232,999
資金支出調整勘定	△16,681	△86,157	69,476
次年度繰越支払資金	1,587,869	1,489,231	98,638
支出の部合計	3,939,946	3,937,687	2,259

記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

決算－予算＝差異

3-2. 貸借対照表(2016年3月31日)

単位：千円

科目	本年度末	前年度末	増減	
資産の部				
固定資産	5,095,945	5,171,601	△75,656	
	有形固定資産	4,953,734	5,055,277	△101,543
	その他の固定資産	142,211	116,324	25,887
流動資産	1,514,855	1,345,102	169,753	
資産の部合計	6,610,800	6,516,703	94,097	
負債の部				
固定負債	210,000	330,000	△120,000	
	長期借入金	210,000	330,000	△120,000
流動負債	1,532,259	1,545,386	△13,127	
負債の部合計	1,742,259	1,875,386	△133,127	
基本金の部				
第1号基本金	6,209,401	6,052,028	157,373	
第3号基本金	100,000	100,000	0	
基本金の部合計	6,309,401	6,152,028	157,373	
消費収支差額の部				
翌年度繰越消費支出超過額	1,440,860	1,510,711	69,851	
消費収支差額の部合計	△1,440,860	△1,510,711	69,851	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計	6,610,800	6,516,703	94,097	

(注)

- 減価償却額の累計額の合計額 1,591,673 千円
- 徴収不能引当金の合計額 4,338 千円
- 担保に供している資産の内訳
 

千葉市中央区新宿 2-11-5	学校用地
同 上	建 物 (3号館)
千葉市中央区新宿 2-14-17	学校用地
千葉市中央区新宿 2-14-13	学校用地
同 上	建 物 (1号館)
- 退職金引当金  
 期末退職金の要支給額 201,000 千円は、千葉県私学教育振興財団よりの  
 交付金と同額のため、退職給与引当金は計上していない。
- 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行う金額 345,252 千円

## 4. 学校長挨拶

本校の美容師科は2011年に開設し、今年で7年目を迎えます。

2016年4月に美容師養成校として独立し、学校名を「ジェイ ヘアメイク専門学校」に改めて2年目を迎えます。

校名の「ジェイ=J」は、「JOB=仕事」と「JOY=楽しむ」の頭文字をとっています。

「仕事」と「楽しむ」を教育の根本に考え、「仕事を楽しむことができる美容師」の育成を教育目標としています。

単に美容師としての技術習得だけでなく、その技術力を土台としてお客様に様々なヘアスタイルを提案し、お客様の人生をも豊かにしてあげられる美容師。

そんな美容師を目標にして、仕事に誇りを持ち自分自身が仕事を楽しむことができる美容師になってほしい、という願いを込めております。

本校は、まだまだ歴史が浅く卒業生も、やっと100名を超えたところです。

新しい学校だからこそ、従前の風習・習慣にとらわれることなく、時代の潮流に合った美容師育成に取り組んでいるところです。

その一つの取り組みが、TONI & GUYとの教育提携です。

英国ロンドンから世界中へ、その技術を伝導している彼らの技術教育と中村学園で構築したホスピタリティ教育（おもてなしの心）を学生指導の両輪として、美容サロンから必要とされる美容師の育成に励んで参ります。

最後に、どのような環境であっても社会が求めている専門学校教育は不変です。

社会で通用する人材育成と、美容業界が必要とする確かな技術力育成を、教育の柱として、皆様から信頼される学校運営を推進してまいります。

2017年4月1日

ジェイ ヘアメイク専門学校

校長 田村英介

## 5. 学校について

### 5-1. 学校の歩み

- 2011年 アイ エステティック専門学校に、美容師学科を設置して美容師教育開始  
校名をアイ エステティック美容専門学校に変更
- 2014年 新校舎（Nタワー）完成に伴い学校移転。更に充実した実習施設環境で  
授業を開始  
美容師学科が職業実践専門課程として文部科学大臣認可
- 2015年 アイ エステティック美容専門学校のインナービューティ科が独立し、  
アイ エステティック専門学校として新たに開校
- 2016年 校名をジェイ ヘアメイク専門学校に変更

### 5-2. 学校の所在地と連絡先

学校本部（Nタワー）

〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-14-3

〈教務・学務〉 TEL：043-306-8890 FAX：043-242-0078

〈広報・就職〉 TEL：043-307-8898 FAX：043-242-0078

〈入学相談室〉 0800-800-1434 フリーダイヤル

ホームページ <http://j-hm.jp>

e-mail [jhm@nakamura.ac.jp](mailto:jhm@nakamura.ac.jp)



## 6. 教育

### 6-1. 学生状況

#### 1. 入学者数及び出身地

入学年度	入学者数	出身地		出身校	
		県内	県外	県内	県外
2014年度	45	40	5	41	4
2015年度	32	27	5	27	5
2016年度	65	62	3	60	5

#### 2. 在籍者数

1年生	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	65	15	50	9	13.8%	1	8	0	0	0
2年生	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	25	6	19	2	8%	1	1	0	0	0
合計	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	90	21	69	11	12.2%	2	9	0	0	0

### 6-2. 美容師国家試験結果

	対象者	受験者	合格者	合格率
2014年度	22	22	22	100.0%
2015年度	36	36	34	94.4%
2016年度	23	22	22	100.0%

### 6-3. 卒業後の進路

#### 1. 卒業後の進路状況

卒業年度	卒業者数	就職状況							進学等		
		就職希望	内定数	卒業生就職率	分野		勤務地		進学	留学	その他
					関連分野	分野外	県内	県外			
2014年度	22	22	22	100.0%	22	0	13	9	0	0	0
2015年度	36	36	36	100.0%	36	0	15	21	0	0	0
2016年度	23	23	23	100.0%	23	0	15	8	0	0	0

#### 2. 分野別内訳

		2014年度	構成比	2015年度	構成比	2016年度	構成比
関連分野	美容室	22	100.0%	34	94.4%	23	100.0%
	まつげエクステサロン	0	0.0%	2	5.6%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分野外		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		22	100.0%	36	100.0%	23	100.0%

#### 3. 主な就職先（2015年度から2016年度順不同）

MINX	AFLOAT	suburbir
each	DU・Pay	MARIS R&SPA
FORTE	Lecheveu	YOKOTA
ORENGE POP	Mod' s hair	IGREK PARIS
PROGRESS	KINGS	Kakimoto Arms
TONI&GUY	matiz	tip top
ナチュラル ハイセンス	marca	CREATEUR UCHINO

## 6-4. 教育課程編成委員会

教育課程編成委員会の委員名簿

No.	構成	氏名	所属	任期
1		田村英介	ジェイ ヘアメイク専門学校 校長	2年
2		富澤邦明	ジェイ ヘアメイク専門学校 広報学務室長	2年
3		前田毅	アイ エステティック専門学校 校長	2年
4	①	中原章統	株式会社セイファート キャリアデザイン事業部マネージャー	2年
5	③	飯高健	一般社団法人 日本美容師連盟 理事長 有限会社プライマル代表	2年
6	③	片岡新一郎	一般社団法人 日本美容師連盟 有限会社アルター代表	2年

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体・職能団体・地方公共団体の役職員
- ② 専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

以上6名

## 2016年度 教育課程編成委員会① 開催記録

日時	2017年3月8日(水)	場所	中村学園Nタワー 1F	進行	田村
出席者	中原 章統 (株式会社セイファート キャリアデザイン事業部マネージャー) 飯高 健 (一般社団法人日本美容師連盟 理事長 有限会社プライマル代表) 片岡 新一郎 (一般社団法人日本美容師連盟 有限会社アルター代表) 田村 英介 (ジェイ ヘアメイク専門学校 校長) 富澤 邦明 (ジェイ ヘアメイク専門学校 広報学務室長) 前田 毅 (アイ エステティック専門学校 校長)				
教育課程編成委員 会 記 録	<p><b>1. 学校運営の現況報告</b></p> <p>(1) 学生状況について</p> <p>2016年4月1日現在 90名在籍 (2年生25名、1年生65名)</p> <p>2017年2月末 現在 80名在籍 (2年生23名、1年生57名)</p> <p>2017年4月予定 130名在籍 (新2年生56名、新1年生74名)</p> <p>(2) 就職状況について</p> <p>卒業生23名全員内定 (卒業生就職率100%)</p> <p>内訳県内15名(65%)、県外8名(35%)</p> <p>(3) 16年度学園生活アンケート結果</p> <p>1. 1年次の授業について</p> <p>2. 資格について</p> <p>3. 学校教職員の対応について</p> <p>⇒学生指導について教務チームと他チームとの教員間に温度差があるのではないかと。今後新年度を迎えるにあたり、学生情報を共有し、定期的に確認していく。</p> <p>⇒クラスの差を無くしていくような学校としての指導方法を討議して進めてみては。早速職員会議で話し合いを行う。</p> <p>⇒入学後のアンケートにおいて、規則について満足が少なく、不満が多いため、今後改善策を検討する。</p> <p>4. 施設・設備について</p> <p>⇒ロッカー使用ルールを見直して再度指導を徹底してみては。教員の意見だけでなく学校として指導を行っていく。</p> <p>5. 本校への入学について</p> <p>⇒卒業生にアンケートをしてみてもは。厳しい意見かもしれないが、本質を突いてる可能性が高いと思われるので今後検討していく。</p> <p>⇒サロンのスタッフがホームルーム等で指導サポートしてみてもは。授業時間とサロンスタッフの方とのスケジュール調整可能な範囲内で検討。</p> <p><b>2. 17年度取組みについて</b></p> <p>(1) 専攻授業</p> <p>カリキュラム重視しつつ、現場に沿った内容を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアスタイリスト専攻 (TONI &amp; GUY 技術教育提携)</li> <li>・ヘアメイク専攻 (メイク・まつ毛エクステ)</li> </ul>				

(2) 企業との連携について

7/11 (火) 学内企業演習・説明会実施

### 3. その他

(1) 理容美容の規制改革について

理容美容の規制改革等に係るワーキンググループ検討会報告書に基づき、  
教科課程の見直し、学科時間数の増減、教員資格について検討後、決定された。

配布資料

①就職活動状況一覧表

②規制改革等に係る報告書

以上

## 6-5. 学校関係者評価委員会

### 学校関係者評価委員会の委員名簿

No.	構成	氏名	所属	任期
1		中原章統	株式会社セイファート キャリアデザイン事業部マネージャー	2年
2		飯高健	一般社団法人 日本美容師連盟 理事長 有限会社プライマル代表	2年
3		片岡新一郎	一般社団法人 日本美容師連盟 有限会社アルター代表	2年

①学校

②実務について知見を有する企業や関係施設の役職員

以上3名

2016 年度 学校関係者評価委員会① 開催記録

日時	2017 年 3 月 8 日 (水)	場所	中村学園 N タワー 1F	進行	中原
出席者	中原 章統 (株式会社セイファート キャリアデザイン事業部マネージャー) 飯高 健 (一般社団法人日本美容師連盟 理事長 有限会社プライマル代表) 片岡 新一郎 (一般社団法人日本美容師連盟 有限会社アルター代表) 田村 英介、冨澤 邦明、前田 毅 (学校職員、オブザーバー参加)				
学校関係者評価委員会記録	<p><b>1. 職業実践専門課程の状況報告</b></p> <p>(1) 最新版 全国の美容系専門学校の認定校一覧                  平成 28 年 2 月 19 日現在 学校数 833 (29.5%) 学科数 2,540 (36.2%)                  ※全専門学校数 (2,823 校)、修業年限 2 年以上の全学科数 (7,023 学科) に占める割合。                  分野別 衛生は 244 学科 (28.6%)</p> <p><b>2. 16 年度の取組み</b></p> <p>(1) 学校運営について                  2016 年 4 月 1 日校名変更してスタート。 事業本部も独立運営開始。                  後期に入り、学生指導において課題等が発生したが、美容師国家試験については講師の先生方の力も借りて乗り切れ、全員合格の見通しがたった。</p> <p>(2) 学生状況について                  2016 年 4 月 1 日現在 90 名在籍 (2 年生 25 名、1 年生 65 名)                  2017 年 2 月末 現在 80 名在籍 (2 年生 23 名、1 年生 57 名)                  2017 年 4 月予定 130 名在籍 (新 2 年生 56 名、新 1 年生 74 名)</p> <p>(3) 就職状況について                  卒業生 23 名全員内定 (卒業生就職率 100%)                  内訳県内 15 名 (65%)、県外 8 名 (35%)</p> <p>(4) 学生募集 (2017 年度生結果と 2018 年度生募集) について                  2017 年度生募集定員 80 名⇒120 名に変更した。                  訴求のポイントについて説明した。</p> <p>(5) 地域貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月に KHP プロジェクト開催 (千葉市主催)</li> <li>・ 12 月に KHP プロジェクト開催 (中村学園主催)</li> <li>・ 8 月にファンキーフレッシュファクトリー参加 (JBA 主催)</li> </ul>				

### 3. 学園生活アンケートについて

#### (1) 16年度結果

##### 1. 1年次の授業について

満足度の低下への改善策はあるのか？

⇒原因・要因を今後学生からヒアリングを行い対処していく。

⇒普通評価が満足による様に、改善していきたい。

##### 2. 資格について

##### 3. 学校教職員の対応について

##### 4. 施設・設備について

⇒ロッカー使用ルールの見直しをしてはどうか。

新入生が増えることもあるので職員で見直し運用していく。

##### 5. 本校への入学について

規則が不満な原因は？

⇒忘れ物・居眠りにのルールに対する教員の指導と学生の意識にギャップがある。

ルールの見直しをした方が良いのでは。忘れないような罰則を設けてみては。

説明不足が招いているのではないか。ルールを自分たちで認識させていく。

当然のことでも、楽しく行うため、自分たちで考えさせるような考え方の環境作り。

⇒2:6:2の法則でどこを改善していくのかを明確にしてみても。

教員や学生にヒアリングをしていき、本質を探り改善を図っていく。

⇒普通をとって4択にしたらどうなるか。

学園共通項目となっているので、今後検討していく。

⇒教員個人の指導方針を見直しては。

次年度は講師も含めて学校共通認識を統一していく。

⇒入学前とのギャップが結果こうなっているのでは。

伝えていくタイミングや内容を検討していく。

### 4. 2017年度の運営方針

学生・地域・社会から必要とされる専門学校になれるよう、全職員が一丸となって学生指導にあたる。教職員の入れ替わりもあるが、学生中退率の改善・学生満足度の向上を目指す。

担任・副担任の連携を強化するため、円滑なコミュニケーションが図れる組織運営を行う。

#### 配布資料

①職業実践専門課程関連資料

②就職活動状況一覧表

③2018年度生募集入学案内書

④16年度KHPプロジェクト告知



## 6-6. 教職員研修

### 1. 2016年度の研修方針

#### (1) 学園研修

自分自身のあり方やリーダーシップの発揮の仕方を見つめ直し、長期的・継続的に望む結果を出す。組織づくりの原則を考え、行動し、習慣化することを目的として昨年度に引き続き「7つの習慣」について研修を実施する。学園研修を通して、自分自身の人生を“長期的、継続的に好ましい状態”へと導くことを目指していく。

#### (2) 学校研修

現在の業界のニーズに合った専門性と、社会人基礎力を身に着けた人材を育てる立場とて、専門知識の向上を行う。

#### 研修実績

月・日	目的	研修名	場所	対象	内容
03/31	指導	新入教職員研修	学校	新入教職員	学生対応
04/01	職員	新入教職員研修	学校	新入教職員	就業規則等
04/19	指導	就職フェア	都内	美容師科職員	就職指導
04/26	指導	就職フェア	都内	美容師科職員	就職指導
04/29	職員	7つの習慣	都内ホテル	全教職員	相互理解と協力の習慣
05/19	職員	教育 IT ソリューション	東京都	総務	アクティブラーニング
05/27	指導	命と幸福	都内	美容師科職員	健康メディカル講座
08/03 08/05	専門	全国理容師美容師 養成施設教職員研修会	名古屋	美容師科職員	学生指導 学生技術指導
08/09	職員	学校法人会計基礎講座	商工会議所	総務	財務・経理の知識
08/19	職員	学校法人会計基準研修	教育会館	総務	会計基準の見直し
10/06 10/07	専門	関東地区理容師美容師 養成施設教職員研修	群馬	美容師科職員	学生指導 学生技術指導
11/09	職員	サイバーセキュリティセミナー	東京都	総務	サイバーセキュリティ
11/15	職員	ヒューマンソリューションフェア	千葉県	総務	IT 業界動向と知識
11/26	職員	マネジメントスキル	学校	管理職	共感と質問
12/07	職員	管理者研修	東京都	管理職	職業専門大学
02/09 02/10	職員	実践ソリューションフェア	東京都	総務	IT 業界動向と知識
02/10	専門	メイク授業の進め方	都内	美容師職員	学生技術指導
03/22	職員	マネジメントスキル	学校	管理職	フォローアップ

\* 専門…専攻分野に関する知識、技術、技能を修得・向上するため

指導…授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するため

職員…役職別研修や学校事務研修など学校組織で働くため

## 6－7. 教職員・講師

専任教員 12名

職員 4名

非常勤教員 10名

## 7. 学生支援

### 7-1. SAM活動及びクラブ活動

#### SAM規程

##### 1. 名称

この会は、中村学園の学生から選ばれたメンバーと学園から任命された職員により構成され、名称を School Activity Members といい、略してSAM(サム)と称する。

##### 2. 目的

中村学園の学生が、明るく元気で活力のある学生生活を送るために ITH・AIK・AIE・JHM・HPY 5校の学生と学園の教職員でSAMを結成し、教職員は学生の自主活動の促進を図り、学生は自主活動により各種イベントの企画運営、クラブ活動、ボランティア活動の活性化を図る。

##### 3. 基本活動目標

- (1) クラブ活動の活性化を図る。
- (2) ボランティア活動の推進を図る。
- (3) 学生の自主活動としての行事を策定し、運営実行を行えるよう企画立案を行う。

##### 4. 組織

- (1) 各クラブよりSAM担当メンバーを1名選出する。
- (2) 各学校のクラスよりSAM担当メンバーを2名選出する。
- (3) 会長1名、副会長・書記・会計の役員を11名おく。
- (4) 行事・広報・クラブ・ボランティアの各委員を編成し、年度活動計画を策定する。
- (5) 学園はSAM活動を支援するため教職員をSAM職として配属する。

##### 5. 任期

- (1) SAMメンバーの任期は、1年とする。
- (2) 期間は年度の5月下旬に組織され、翌年度の第一回SAM会議前日までとする。ただし2年生の学生は卒業で役割を終える。

##### 6. 運営

- (1) SAM会議は、原則として毎月1回行う。
- (2) 組織結成と役員を選出、年間活動計画案策定のため、5月に第一回SAM会議を行う。
- (3) 会長の職務を補佐するために、役員会議を随時開催する。
- (4) 各既存クラブや新規クラブ募集の支援を行い、クラブ確定後にクラブの年間予算の管理を行う。

- (5) SAM主催のボランティア活動を年数回行う。
- (6) クラブ活動やボランティア活動の情報を学生に伝達し、参加を促す。
- (7) SAM運営の行事は、7月までに企画案を立て学園の承認を持って実行する。

## 7. 予算

- (1) SAMの年間総予算は、クラブ運営予算<年度の在籍学生数×2,000円>及びイベント活動予算<年度の在籍学生数×1,000円>で構成される。
- (2) クラブ活動予算は、年度当初に総額が決定され、各クラブの年間活動計画等を参考にして配分方法を立て、SAM職代表の承認を得る。
- (3) 予算の執行は会長が責任を持って行い、会計の執行手続きについてはSAM職リーダーの指示に従い会計が執り行なう。

クラブ名と員数

クラブ名	2014年度					2015年度					2016年度					
	ITH	AIK	AIE	HPY	計	ITH	AIK	AIE JHM	HPY	計	ITH	AIK	AIE	HPY	JHM	計
バドミントン	36	25	2	0	63	34	4	2	8	48	26	9	14	5	0	54
サッカー(男女)	28	18	6	1	53	34	22	8	2	66	48	11	6	5	0	70
野球	20	4	1	0	25	24	4	1	1	30	29	9	2	1	0	41
バレーボール	15	21	1	0	37	17	11	13	3	44	39	17	11	4	0	71
男子バスケットボール	12	31	4	0	47	21	28	23	0	72	24	21	2	7	0	54
テニス	8	27	2	0	37	21	9	1	1	32	14	9	0	1	0	24
マラソン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	0	5	0	16
カゲル研究	28	8	0	0	36	69	6	3	15	93	80	0	2	5	0	87
動物里親	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	32	0	0	0	32
軽音楽	15	18	9	3	45	17	17	12	5	51	5	20	2	1	1	29
アウトドア	121	15	6	0	142	146	2	9	3	160	71	0	1	0	0	72
ドッグスポーツ	0	44	0	0	35	7	41	4	0	52	4	16	3	0	0	23
シネマ	1	54	0	0	55	10	35	0	2	47	8	27	0	2	0	37
チャリ	58	2	0	0	60	79	1	16	1	97	49	0	8	0	0	57
ダンス	17	10	8	3	38	39	3	20	0	62	29	6	13	7	5	60
美ューティ	1	0	29	0	32	3	0	26	0	29	0	0	62	0	0	62
アクア	0	16	0	0	16	2	10	0	0	12	1	10	0	0	0	11
クルージュパソ	66	4	0	0	70	126	0	0	0	126	162	1	0	0	0	163
パーティシエ	6	9	4	0	19	24	5	2	0	31	7	3	0	0	0	10
フォト	0	14	0	0	14	6	19	0	0	25	6	8	0	0	0	14
テーマパーク	49	2	1	0	52	43	5	0	2	50	36	2	0	1	0	39
卓球	17	3	0	0	20	11	4	1	1	17	14	1	1	1	0	17
Job & Joy	0	0	65	0	65	0	0	63	0	63	0	0	0	0	89	89
ダイエット	21	0	0	0	21	14	3	2	0	19	13	4	0	0	0	17
みんなのゴルフ	26	0	2	0	28	12	4	0	0	16	22	2	0	0	0	24
計	554	350	141	7	1052	759	233	206	63	1261	697	209	127	45	95	1173

ITH：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

AIK：専門学校ちば愛犬動物フラワー学園

AIE：アイ エステティック美容専門学校

JHM：ジェイ ヘアメイク専門学校

HPY：ハッピースイーツ製菓専門学校

## 7-2. カウンセリング

- ・ 学生相談室を学園近隣に設置。
- ・ 毎週水曜日 15 時～19 時まで開設。
- ・ 学生は予約電話をカウンセラーの先生へかけて、相談日時を決定。
- ・ 学生への告知は4月のオリエンテーション時にカウンセラーの紹介と相談内容を説明。

## 8. 危機管理

視点：個人情報保護、事故対策、防災対策、健康管理、苦情処理

項目	内容
16年度の実績	<p>1. 危機管理プロジェクト 担当：瀧・向山・安田・櫻井正・鈴木史・亀井・山内（宮寺）・川島克</p> <p>(1)内容 ①合同避難訓練計画と実施 ②非常・災害時備蓄品の確認 ③地震対策マニュアルの改訂 ④消防法に基づく対応の整備 ⑤緊急連絡先の更新と確認 ⑥積雪時の対応について</p> <p>(2)日程 ①2016年5月30日(月)                      ②2016年6月27日(月) ③2016年7月27日(水)                      ④2016年9月15日(木) ⑤2016年10月31日(月)                      ⑥2016年11月30日(水)</p> <p>2. 中村学園合同避難訓練の実施</p> <p>(1)実施日：事前訓練 2016年11月7日(月)～11月11日(金)                   実践訓練 2015年11月15日(火) 11時11分発災                   事後訓練 2015年11月16日(水)～11月30日(水)</p> <p>(2)参加人数：1,219名(学生)</p> <p>(3)目的：命を守る初動訓練</p> <p>(4)訓練項目： ・状況に合わせた自己の安全確保方法 ・学生と教職社員の連携による安否確認方法の確認 ・大規模震災時の教職社員の初期対応の確認 ・各校の災害対策室と災害対策本部の情報連絡方法の確認</p> <p>(5)反省点 ・レポート用紙フォーマット修正箇所(教室名欄・英語表記など) ・全学園一斉連絡用の無線機の整備 ・緊急放送の入らない教室 ・事前準備資料の不備(旧レポート用紙の混入や集計表クラス記載漏れ) ・集計数カウント記載ミス ・低年齢児の誘導に時間がかかった</p>

	<p>3. 学生指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ、ノロウイルス予防啓蒙</li> <li>・健康診断実施</li> <li>・防災啓蒙活動</li> <li>・SNS 利用における学生への指導</li> <li>・薬物の危険性における学生への指導</li> </ul> <p>4. 職員実施事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取扱いに関する注意喚起</li> <li>・健康診断実施&lt;2016年4月7日(木)&gt;</li> </ul> <p>5. 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラによる監視活動</li> <li>・消防点検</li> <li>・防災備蓄品の整備</li> <li>・AED 定期点検</li> <li>・夜間有人警備(合同校舎)</li> </ul>
<p>今後の取組</p>	<p>上記16年度の実績と同内容に加え、SNS への書き込みへの注意喚起。          学生・教職員・講師への一斉連絡システム(オクレンジャー)の          登録と観覧の徹底。</p>

## 9. 国際連携・地域貢献等

視点：国際連携や地域貢献、新規導入行事等の活動

### 地域貢献・行事

- ① キッズハッピープロジェクトとして小学生を対象としたお仕事体験イベントを開催
- ② サッカー場にいらっしゃったお客様のヘアアレンジイベントに参加
- ③ キッズダンスイベントのヘアアレンジお手伝いに参加



## 10. 自己評価

### 1. 学校の教育目標

#### 【教育理念】

ホスピタリティ精神を持ち、美容技術を身に付けた人材の育成

※注釈

ホスピタリティとは、お客様を「心からおもてなしする気持ち・心配り・思いやり」を意味します。

#### 【教育方針】

- ①美容師国家試験に合格する。
- ②美容業界で通用する人間力を身につける。

#### 【教育目標】

授業と日常生活を通じて、2年間で4つのステップに分けて、段階的に目標を達成する。

- 1年前期→ 言われたことができる人になる。
- 1年後期→ 言われなくてもできる人になる。
- 2年前期→ 率先して行動できる人になる。
- 2年後期→ 周りから信頼される人になる。

### 2. 2016年度の重点目標

今年は美容師科設立から7期目を迎え、事業部として単独運営2年目となる。

学生数も増え、今後の単独運営に期待が持てる状況になってきた。組織も、教務・学務の統合や人的補強を図り、学生の受け入れ体制を強化していく。学校の成長に併せて、募集力や学生指導力も向上していかなければならないが、我々は学生を国家試験合格に導く責務も忘れてはならない。

美容師になりたいという志を抱いた学生の「やる気」を牽引し、学生から指持される学校である為に、皆で掲げた目標を追いかけ、入学満足度の高い美容師養成校創りに取り組みたい。

#### 【 目標 】

募 集	:	入学者	:	80名
中 退 率	:	10%未満	(1年生)	
授業満足度	:	70%以上	(全体)	
入学満足度	:	80%以上	(全体)	
卒業生就職率	:	100%		

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目標			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
1	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 (3) 2 1	入学案内書 SCHOOL LIFE MANYUAL
1	2	学校の将来構想を描くために、 業界の動向やニーズを調査しているか	4 (3) 2 1	教育課程編成委員会 議事録 企業訪問管理表
1	3	学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応 する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 (3) 2 1	入学案内書 SCHOOL LIFE MANYUAL
1	4	学校における職業教育の特色は 明確になっているか	4 (3) 2 1	入学案内書 SCHOOL LIFE MANYUAL
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 生徒・保護者等に周知されているか	4 3 (2) 1	入学案内書 SCHOOL LIFE MANYUAL 保護者会配布資料

#### ① 現状と課題

- ・社会人基礎力を身に着けかつ美容業界で働いていくうえで、正しい知識と技術を身に着けた技術者を目指し、美容師免許取得に向けてと、美容の基礎をしっかりと学ぶカリキュラムとなっています。学校説明会や入学前研修、入学後の生活実習指導等を通して共有しています。
- ・保護者への情報共有は学校説明会に加え、入学後の4月に行う保護者会にて学生・家族・学校の協力体制を共有している。

#### ② 今後の改善方策

- ・社会人基礎力の向上に向けて、更に情報収集を行い学内及び学園全体で検討を行う。

#### ③ 特記事項

特になし。

2. 学校運営			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定 要件に沿った適切な運営がなされているか	4 (3) 2 1	設置認可書
2	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において 明確化されているか、有効に機能しているか	4 (3) 2 1	組織図 職務分掌
2	3	教務・財務等の組織設備など意思決定システムは 設備されているか	4 3 (2) 1	組織図
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4 (3) 2 1	重点方針
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 (3) 2 1	重点方針
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4 (3) 2 1	就業規則 給与規定
2	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を 図っているか	(4) 3 2 1	講師会議資料

2	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 (3) 2 1	近隣連携
2	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 (3) 2 1	情報公開資料
2	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 (2) 1	デスクネッツ Nacs オクレンジャー
2	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4 3 (2) 1	自己点検
2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 (3) 2 1	危機管理ミーティング、議事録
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4 3 (2) 1	SCHOOL LIFE MANYUAL 学生相談窓口 (1F 職員室)

### ① 現状と課題

・本校は前年の活動から問題点や改善点を抽出し、法人全体の長期計画・中期計画をもとに重点方針や事業計画を策定しています。本校における事業計画は事業本部長がこれを定め、職員会議を最高決定機関とし、その中で学科の責任者が目標や役割を明確にし、部門やメンバー同士の連携を図り学校運営を行っています。

・人事や処遇に関する規程については、常勤職員の採用及び人事等を学校法人中村学園の運営本部が管轄し、また非常勤講師の採用については法人に属する各校が管轄しています。常勤者の処遇については運営本部また事業本部の要員計画に基づいて契約内容を決めて採用を行い、人事考課制度に基づいて昇進、昇給及び賃金規定を決めています。

・情報システムについてはNacs、デスクネッツ、オクレンジャーを使用し、会計システムを新規導入して更なる効率化を図ってる。システムの有効活用に向けて改修を重ねていくことが必要である。

・情報公開については自己点検、自己評価、財務情報は、ホームページで公開しております。

### ② 今後の改善方策

人事・給与に関する規程については、法人全体で統一されています。毎年的人事考課のシステムについては継続課題として取り組んでおり、就業規則全体の見直しをを視野に入れ更に公正かつ適切で明確な処遇に改善する方針です。

### ③ 特記事項

特になし。

3. 教育活動			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1	入学案内書 SCHOOL LIFE MANYUAL
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1	教育課程編成委員会 議事録 SCHOOL LIFE MANYUAL

3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1	教育課程編成委員会 議事録 SCHOOL LIFE MANYUAL
3	4	美容関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1	教育課程編成委員会 議事録
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL 重点方針 保護者会配布資料
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1	教育課程編成委員会 議事録 SCHOOL LIFE MANYUAL
3	7	Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
3	8	美容関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1	インターンシップ依 頼書・協定書 講師契約書
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4 3 2 1	時間割
3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4 3 2 1	授業改善アンケート 授業報告書
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL 2年再評価基準
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1	授業改善アンケート 授業報告書
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4 3 2 1	Nacs の閲覧制限
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4 3 2 1	授業報告書 職員会議議事録 学園生活アンケート 授業改善アンケート
3	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1	履歴書
3	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4 3 2 1	授業報告書 職務分掌
3	19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1	研修報告書
3	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	4 3 2 1	研修報告書
3	21	美容関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行なわれているか	4 3 2 1	講師契約書

① 現状と課題

- ・職業教育について改めて外部関係者からの意見を取り入れる機会がまだ少ない。
- ・前期後期の各期末に授業についての全学生～アンケートを取って、教員・講師との面談に役立てている。

② 今後の改善方策

- ・企業との連携したカリキュラム検討を目的とした教育課程編成委員会を組織する。

③ 特記事項

- ・特になし。

4. 学修成果			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
4	2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1	進路管理表 N a c s 機関誌
4	3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
4	4	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 3 2 1	授業改善アンケート 学園生活アンケート 授業報告書 人事考課表
4	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4 3 2 1	成績証明書
4	6	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目標に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL 授業評価報告書
4	7	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4 3 2 1	インターンシップ依頼書・協定書 オーダーシート
4	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 2 1	

① 現状と課題

・進路決定に向けて就職担当者を配置しています。職種や希望勤務地等の希望に応じて、計画的に就職指導を行っています。学生一人一人の目標と適正、通勤条件等を加味し、最適な就職先が選定できるよう個別に指導しています。また本校全体において1年次から2年次かけて継続的に情報を提供し、自ら行動に移す就職活動の構築のために活動を支援しています。

・資格取得率の向上については、全学生が在学中に美容師免許の取得を目指し、二年間かけて国家試験科目に取り組めます。授業運営の工夫や対策講座の実施等の計画を立て、体系的な指導のもとに学生が効果的に資格取得できるように努めています。

② 今後の改善方策

- ・美容師国家資格以外の将来に繋がる検定授業・受験について検討する。
- ・卒業生の状況を把握するために、調査・研究し、OB会などの活用を検討する。

③ 特記事項

・特になし

5. 学生支援			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1	求人のお願
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
5	3	保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1	保護者説明会資料
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1	
5	5	卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1	学費サポート制度(入学案内書)
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1	カウンセラー
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1	SAM 規約
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1	提携学生寮案内 アルバイト紹介
5	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1	高校訪問時の模擬授業 マナー指導 ガイダンス依頼書

① 現状と課題

- ・就職及び学生相談に関する支援体制については、本校では就職担当者と、各クラス担任・副担任を配置し、一人一人の志望と能力・適性に合わせ進路指導と学生相談を行っている。
- ・図書室については学生の知識・学習意欲の向上のために、図書の整備を続けている。
- ・一人暮らしの学生に対し、補助金を支援している。
- ・学費の分納制度を用意している。

② 今後の改善方策

- ・保護者への理解と協力を求める為に、年に1~2回程度「保護者説明会」を実施する事を検討する。

③ 特記事項

・特になし。

6. 教育環境			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1	設備・備品一覧表 教員一覧表
6	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4 3 2 1	教室内 教材・設備管理表

6	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4 <input checked="" type="radio"/> 3 2 1	研修報告書 避難訓練概要
6	4	防災に対する体制は整備されているか	<input checked="" type="radio"/> 4 3 2 1	中村学園災害対策マ ニュアル
6	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等につ いて十分な教育体制を整備しているか	4 <input checked="" type="radio"/> 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL IS 先一覧表 フランス研修工程表

① 現状と課題

- ・施設・設備については専門学校の設置基準及び美容師養成施設基準に基づき、学習に専念できる環境を確保している。
- ・防災に対する体制については毎年法令に基づいた防災訓練（避難訓練）を実施しています。法人独自の防災マニュアルを作成し、それに従った要員の配置と役割の明確化により行っている。備蓄品の整備も順次取り組んでいる。

② 今後の改善方策

- ・学生への連絡ツールのオクレンジャーを活用した災害時の連絡・確認などを検討する。

③ 特記事項

- ・特になし。

7. 学生の受入れ募集			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
7	1	学生募集活動は適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	<input type="radio"/> 4 3 2 1	願書 誓約書 卒業証書写し
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	<input type="radio"/> 4 3 2 1	願書
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの前提となる要件が明示されているか	<input type="radio"/> 4 3 2 1	入学案内書 募集要項
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	<input type="radio"/> 4 3 2 1	募集要項
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	<input type="radio"/> 4 3 2 1	入学案内書
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	<input type="radio"/> 4 3 2 1	入学案内書 公式ガイドブック
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4 3 <input checked="" type="radio"/> 2 1	
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4 <input checked="" type="radio"/> 3 2 1	SCHOOL LIFE MANYUAL
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	4 <input checked="" type="radio"/> 3 2 1	募集要項 公式ガイドブック

① 現状と課題

- ・学生募集については、教育機関としての節度を持ち、適正に行うよう努めています。入学検討者を対象とした入学案内書やホームページは、教育内容、就職状況等が、学生や保護者の立場の視点からわかりやすく理解できるよう作成しています。製菓衛生師養成施設の基準に準じ、入学時に最終学歴の卒業証明書の提出を義務化している。

- ・入学選考については適正且つ公平に行うため、入学募集要項に入学選考方法の基準を記載しています。
- ・学納金については理事会・評議員会において、入学金、授業料、実習費等の学納金が、学生の人数、教育内容、教育環境に照らし妥当なものであるか等の検討を経て、決定しています。

② 今後の改善方策

- ・経済的支援を必要とする学生層が増加傾向にあり、通学時の交通手段が不便なケースも多く、このような環境下での奨学金利用者も多く適正な募集活動の研究が課題であります。

③ 特記事項

- ・特になし。

8. 教育の内部質保証システム			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1	学生管理システムの閲覧制限
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1	運営会議
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4 3 2 1	デスクネット文書管理システム
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 3 2 1	自己点検
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 3 2 1	
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4 3 2 1	
8	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4 3 2 1	
8	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4 3 2 1	情報公開資料

① 現状と課題

- ・本校におけるコンプライアンスについては学校法人の運営本部が法律の専門家を顧問として配置し、新制度や規則の制定、各種届出などの際に様々な角度から確認を行う等、法律等を遵守する体制を構築しています。
- ・個人情報については、学校に必要な個人情報の保護を事業本部主導のもと、年2回開催している講師会議において、常勤、非常勤教職員とともに注意喚起を行い、個人情報の保護に努めています。

② 今後の改善方策

- ・自己点検・自己評価につき、学校関係者評価委員会により評価・改善を行ってまいります。
- ・文書管理規定の整備に努め、内部監査の組織体制と評価基準の設定に向けて検討を行います。

③ 特記事項

- ・特になし。



9. 財務			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1 ○4	会計監査
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1 ○4	情報公開資料
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1 4○3	決算書
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1 4○3	予算書 収入見込み

① 現状と課題

・本校では学園本部と学校事業本部が連携し、学校の財務基盤について中期計画を立て、執行状況に関しては毎年半期ごとの理事会・評議員会の確認を経て財務状況、資産内容や資金内容の管理を行っています。

・予算・収支計画については、中期計画、年度計画に基づいて執行しています。予算・収支の総額及び収支各項目の妥当性は、理事会・評議員会において確認がなされ、予算の問題点や今後の動向については業務組織に対する指摘が行われます。

・会計監査については半期ごとに2回、監事による会計監査と監査法人による会計監査を適正に行っており、理事会・評議員会に報告しています。

・財務状況の公開については、自己点検・自己評価を公開するにあたり、財務状況の公開も行っています。

② 今後の改善方策

・安定した教育の提供のために今後も業界の研究を継続し、入学者の動向をしっかりと把握して中退防止に努めます。

③ 特記事項

・特になし。

10. 社会貢献・地域貢献			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1 4○3	施設貸出、KHP
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1 4 3○2	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1 4 3○2	

① 現状と課題

・週末に行われる、サッカー観戦に来た一般のお客様のヘアセットを無償で行っている。

・小学生を対象にキッズハッピープロジェクトという名称で、美容師のお仕事体験を行っている。

・地域及び企業と連携し、子供達のダンスイベントのヘアセットを夏休みを利用し行っている。

② 今後の改善方策

・学校で学んだ知識や技術とホスピタリティ精神を活かした、地域貢献や子供たちの活動を支援するボランティアを研究していく。公開講座や教育訓練の受託等の貢献活動については現在は実施していない。今後その体制が組織的に構築できるか検討していく。

③ 特記事項

・特になし。

11. 国際交流			適性・4、ほぼ適正・3 やや不適正・2、不適正・1	エビデンス (文書番号)
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 <input checked="" type="radio"/> 2 1	
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 <input checked="" type="radio"/> 2 1	
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 <input checked="" type="radio"/> 2 1	
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 <input checked="" type="radio"/> 2 1	

① 現状と課題

本校では外国人留学生の受験者及び入学者がおりません。実習の技術指導と国家資格科目を中心とした授業において高い日本語能力が求められ、また卒業後の国内での就労ビザ取得が最大の理由に挙げられます。

② 今後の改善策

サポート教職員の配置と就労ビザと就労環境の調査研究をを検討する。

③ 特記事項

特になし。